

2015年1月21日

十和田八甲田地区
パークボランティア連絡会
第98号 会報

発行者 福村 誠

青森市南佃 1-12-4

Tel・Fax 017-742-8305

E-mail pktcw409@yahoo.co.jp



十和田湖 恵比須大黒島

「年末年始の

忙しさから解放

され、やっと

一息つきたいと

思う暇もない程

の大雪に、少し弱音を吐きた

くなるような今年の冬。それ

でも八戸市や十和田地域は例

年並みの雪だという。改めて

津軽と南部地方の季候の違い

に驚かされる。

昨年10月27日、御嶽山噴火

により60名を超える死傷者が

発生した災害の記憶が強く印

象に残っている。今回の災害を

受けて火山噴火予知連絡会で

は八甲田山を含め全国の3火

山を常時監視の対象に盛り込

む事となった。

今年は私たちが活動するフ

ィールドであるこの十和田八

甲田地区におけるリスク（危

険箇所）を今一度再確認する

と共に、この地域を訪れる皆

さんへ、これまで以上に情報

発信をしていかなければと思



「新年の」挨拶」

会長 福村 誠

「あけましておめでとう」ございます」

年末年始の大寒波に襲われ、あわただ

しく羊の年を迎え、平成27年の幕開けと

なりました。

昨年は東北4地区PV合同研修会にお

きまして、皆さまのあたたかいご支援と

ご協力をいただき、盛況のうちに終わる

ことが出来たと思っております。

ことに2日目の奥入瀬渓流では各班に

分かれて、それぞれの名解説が、十和田

八甲田地区PVならではの質の高い紹介

ぶりであったと聞こえております。

さて、今年は観光立県として様々な諸

問題に具体的な方向性を示し、更に展望

していく年でもあると言えます。PV会

員におかれましては、それぞれに忙しい

日々が待ち受けていることかと思いま

す。日々の積み重ねが週となり、月とな

り、期から1年となる。それは実に当り

前の事なのですが、年頭にあたって新た

めて感じるものです。

今までの活動の積み重ねが今後につな

がることを信じ、「はりきって！」平成27

年に向かって行きたいと思えます。

「新年の」挨拶」

十和田自然保護官事務所

首席自然保護官 高橋 正浩

皆様、新年明けましておめでとうござ

います。

気象庁の予報では、暖冬とのこと

でしたが、昨年と比べ事務所のある休屋

では積雪が多く、除雪作業で汗を流す

日々が続いております。青森市では、

例年になく大雪となっており、除雪作

業等に精を出されていることと思いま

す。冬場のいい運動ではありませんが、

くれぐれもお怪我なく、春にまた元氣

な姿でお互いにお会いできることを楽

しみにしております。

先の話ではありませんが、来年には十

和田八幡平国立公園が指定されて80

周年の節目の年を迎えることとなつて

おります。八甲田や十和田湖の火山活

動が心配されるところではあります

が、皆様と一緒に80周年に向けて、弾

みをつけるそんな年にしたいと考えて

おります。

本年も引き続き、十和田八甲田地区

の美しい環境を守るためにご協力の程

よろしくお願い申し上げます。

【平成26年度井戸岳植生復元活動】

十和田自然保護官事務所 畑中 亮輔

皆様、明けましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成26年度に実施した井戸岳植生復元作業について、この場を借りて、簡単ではありますが皆様にご報告させていただきます。

作業は4回実施しており、延べ参加人数は52名でした（PVからは34名参加）。作業内容については、施設の簡易補修、調査区及び実験区の植生調査に加え、新たに実験区を1箇所新設しました。昨年と調査結果を比較しますと、わずかではあります、植物が増えていることを確認しました。

一昨年、種を播いた実験区（植生がほとんどない場所）から芽が出ていたことには驚かされ、来年どのようになり長めるのか楽しみがまた1つ増えました。さらに、新設した実験区にも種を播いていますので、こちらも併せて気になるところです。

皆様お忙しい中、

活動にご協力いただきまして、この場をお借り

してお礼申し上げます。

来年度もご協力の程、

よろしくお願ひ申し上げます。詳細については、3月の研修会の際に、ご報告させていただきます。



活動状況の様子



実験区の新芽

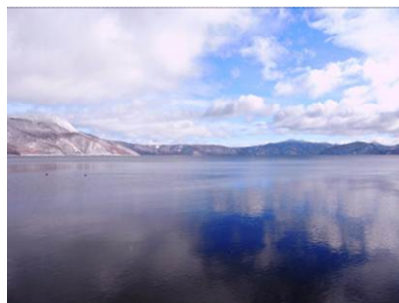
新設した実験区

「十和田湖の冬」

十和田自然保護官事務所 大野 花南

昨年はPV活動や合同研修会等、たくさん行事でみなさまに大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、私は昨年4月から赴任し、初めての「十和田湖の冬」を体験しています。周辺の木々や岩の上には雪が積もり、静かなモノクロームの世界に心惹かれる一方で、風が強い日には、雪が舞いあがり、視界が真っ白になる「ホワイトアウト」を体験し、自然の脅威も改めて感じました。



写真：(上)奥入瀬溪流 (下)銀山からの眺め

休屋では冬の一大イベント「冬物語」(2月6日～3月1日)の準備が始まっています。お時間がありましたら、ぜひ足を運んでいただきたいと思ひます。



【3月の活動予定】

「PV自主研修会

及び平成26年度PV反省会」

日時：3月22日(日) 10時～14時30分

場所：青森市中央市民センター

研修会 10時～12時

「青森5連隊雪中行軍」

講師：山本正教(PV会員)

「平成26年度井戸岳植生復元活動」

担当：畑中AR

昼休み 12時～12時50分

連絡会で弁当を準備します(無料)

反省会 12時50分～14時30分

平成26年度の活動を振り返り

意見交換

その他

申込み〆切 3月13日(金)

連絡先 福村 誠

前田 愛子

高田 光明 迄

： 事務局から …

「平成26年度活動報告書」を同封しました。提出期限は3月末迄とします。研修会に持参下されば助かります。会報発送用封筒の再利用に協力願ひます。同じく研修会に持参願ひします。

